

## エピソード43

トラブルの多い子どもとの  
保護者に連絡するとき  
大切なことは…。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験  
があります。エデュサポネットのファ  
シリテーターです。



小学校の先生が若い頃、中学年を担当した時の経験をお聞きします。

僕が担任したまい子さんは、とても活発で先頭に立って学級を仕切っていました。

とても頼りになる反面、反発する子も多くトラブルが絶えませんでした。それで家庭に連絡することも多かったです。





保護者の反応はどうでしたか。

お母さんはいつも僕の話聞いて、「家でも話しているんですけどね…」と困ったように、元気なく答えていました。

僕はそんなお母さんの様子に、度々連絡することを申し訳なく思い、電話をすることが負担で気が重くなっていました。





先生はどうしたのですか。

先輩の先生に相談しました。

先輩は、まい子さんや学級の子どもたちの  
様子に気づいていたようでした。そして  
お母さんと協力するといい、と言いました。





先輩の先生は、具体的に  
どんなアドバイスをしてくれましたか。

先輩は「学校から電話が来るたびに、  
お母さんは自分の子育てを責められている  
ように感じてしまうのではないかな。

お母さんが、まい子さんにどんな話をして  
いるのかも聞いて、一緒に考えていきたい  
という姿勢が大切。」と話してくれました。





先輩は、他にもアドバイスを  
してくれましたか。

「トラブルを報告するときでも、まい子  
さんが努力しているところを見つけて、  
いい変化を伝えると安心すると思う。」

家庭の様子も聞いて、お母さんと一緒に  
まい子さんの頑張りを認めてあげられると  
いいよね。」と話してくれました。





先輩のアドバイスを聞いて、先生はその後どのように対応しましたか。

僕は次の日から、学級でトラブルが起きたとき、誰にどんな言葉をかけたのかきちんと記録しておくようにしました。

子どもたちの言葉も記録することで、よいところに気づくことができました。





保護者への連絡のしかたで、  
変わったことはありましたか。

困っていることを連絡するだけでなく  
一緒に考えて見守っていきましょう、  
という姿勢を伝えるようにしました。

また、子どもが努力しているところも  
伝えるようにしました。保護者に褒め  
られて、子どももうれしそうでした。







## なみちゃんの一言

- 子どもの不適切な行動は、保護者と協力して対応していくことが大切です。
- 困っていることの報告だけでなく、がんばっていることもお知らせして、子どものよい変化を認めて一緒に喜び合えるといいですね。
- 保護者と教師が、情報を共有して協力することは、子どもにとっての安心にもつながります。

お・し・ま・い



なみちゃん

ナレーション 浪岡美保  
(北海道教育大学大学院 修了生)

イラスト 尾上樹里  
(北海道教育大学 大学院生)